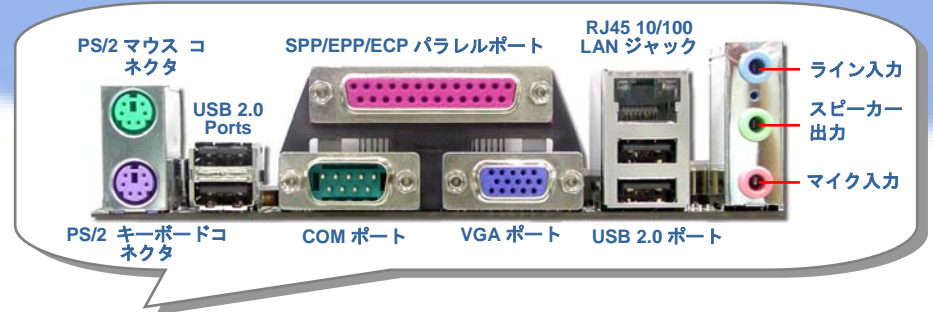
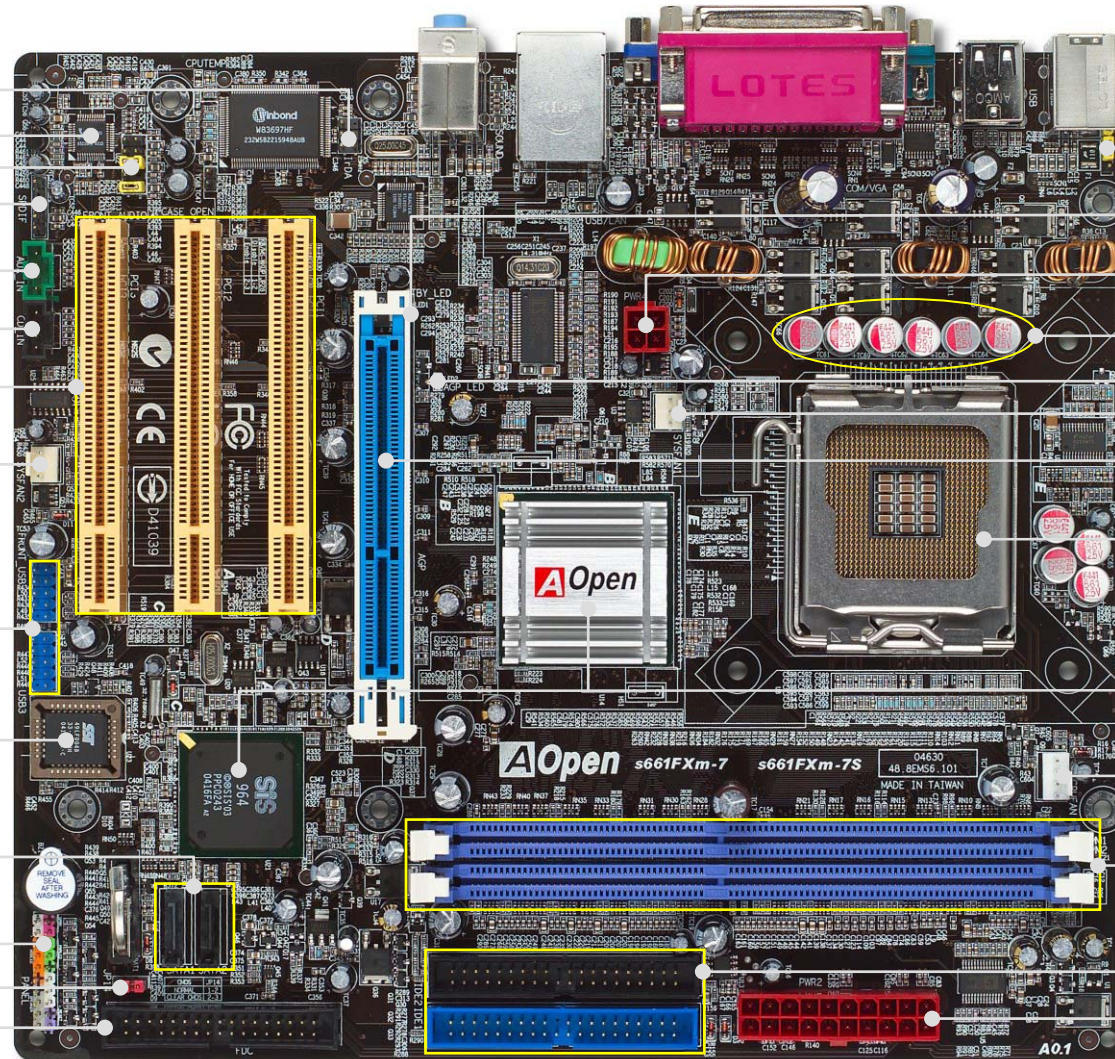


s661FXm-7S / s661FXm-7



- IrDA コネクタ
- オンボード AC'97 CODEC
- フロントオーディオコネクタ
- S/PDIF コネクタ
- AUX_IN コネクタ
- CD_IN コネクタ
- 32 ビット PCI 拡張スロット x3
- SYSFAN2 コネクタ
- USB 2.0 コネクタ x2
- ダイハード BIOS Lite
- シリアル ATA コネクタ x2
150 MB/s 転送速度をサポート
(s661FXm-7S)
- フロントパネルコネクタ
- JP14 CMOS データクリアジャンパ
- FDD コネクタ



- JP28 PS2 キーボード/マウスウェイクアップジャンパー
- STBY LED
- 4 ピン 12V ATX 電源コネクタ
- 低 ESR コンデンサ
- AGP 保護 LED
- SYSFAN1 コネクタ
- AGP 8X 拡張スロットは 8X AGP カード(2.1GB/s)をサポート
- LGA775 CPU ソケットは、電圧およびクロック自動検出機能付き、Intel[®] FC-LGA4 CPU をサポート
- SiS 661FX/SiS 964(s661FXm-7S) SiS 661FX/SiS 964L(s661FXm-7)チップセットは 800 MHz FSB, DDR 400, AGP 8X, および 10/100 Mbps LAN をサポート
- 184 ピン DIMMx2 で DDR400/333/266 最大 2GB をサポート
- IDE コネクタ x 2 (ATA 66/100/133 対応)
- ATX 電源コネクタ

AOpen は製品仕様および本出版物の記載事項について、将来予告なしに変更する権利を有します。



インストールの準備

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

DIYでインストール

付属品チェックリスト

- イージーインストールガイド x 1 式
- 80 芯線 IDE ケーブル x 1 本
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- ボーナスポック CD x 1 枚
- I/O シールド x 1 個
- Serial ATA ケーブル x 1 本 (s661FXm-7S のみ)
- Serial ATA 電源ケーブル x 1 本 (s661FXm-7S のみ)



PART NO: 49.8EM07.JE1

DOC. NO: S661FXM7S-EG-J0408A

 Hyper-Threading

 RAID

 EzWin Flash

 Serial ATA

 DieHard BIOS Lite

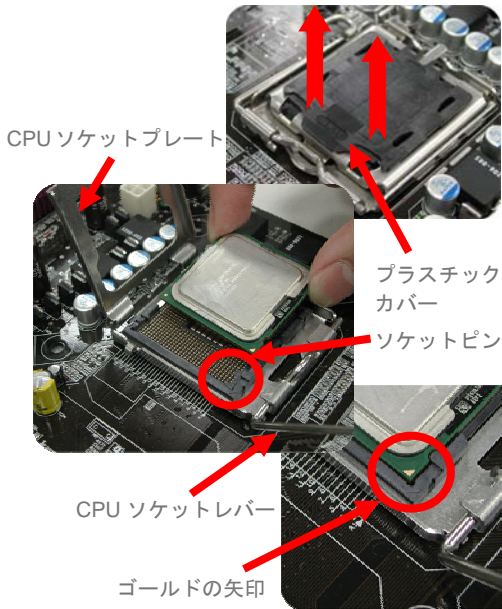
 ATA133

 DDR400

 AGP8X

1. CPU のインストール

当ソケットは Intel 開発の最新 CPU パッケージである FC-LGA4 CPU パッケージ CPU のみサポートします。その他の形式の CPU パッケージは挿せません。



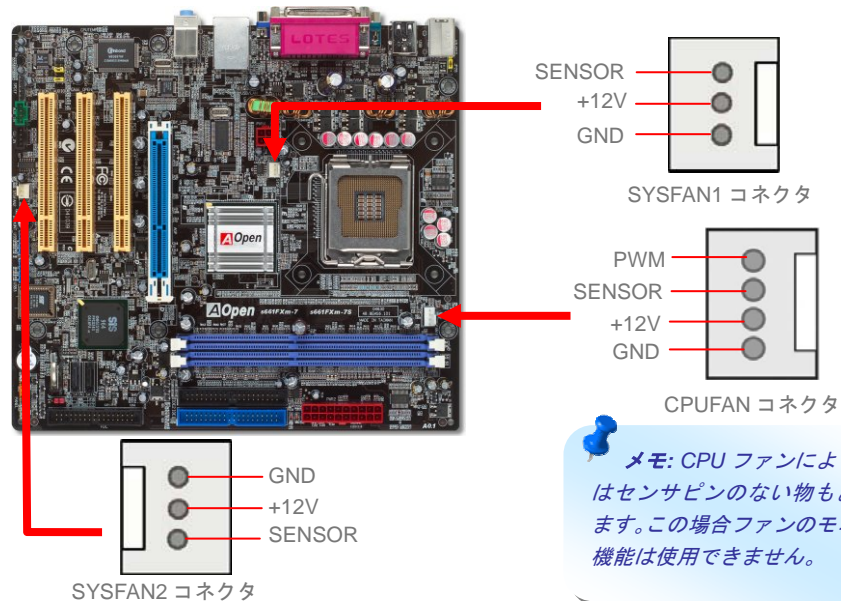
1. CPU ソケットレバーを上げ、プレートを上げます。
2. CPU ソケットプレートのプラスチックカバーを外します。
3. ソケットの1番ピンを確かめ、CPU 上部の金色の矢印を確認します。1番ピンと矢印を合わせます。これでCPUをソケットに挿します。
4. CPU ソケットプレートおよびレバーを戻すと、CPU のインストールは完了です。

警告: CPUソケット1番ピンとCPUの金色の矢印を合わせないと、CPUが損傷する可能性があります。またCPUインストール時にはソケットピンに触れないようにしてください。

メモ: Prescott CPUの過熱を防止するため、サーマルペーストの使用がIntelから強く勧められています。

2. CPU およびシステムのファンのインストール

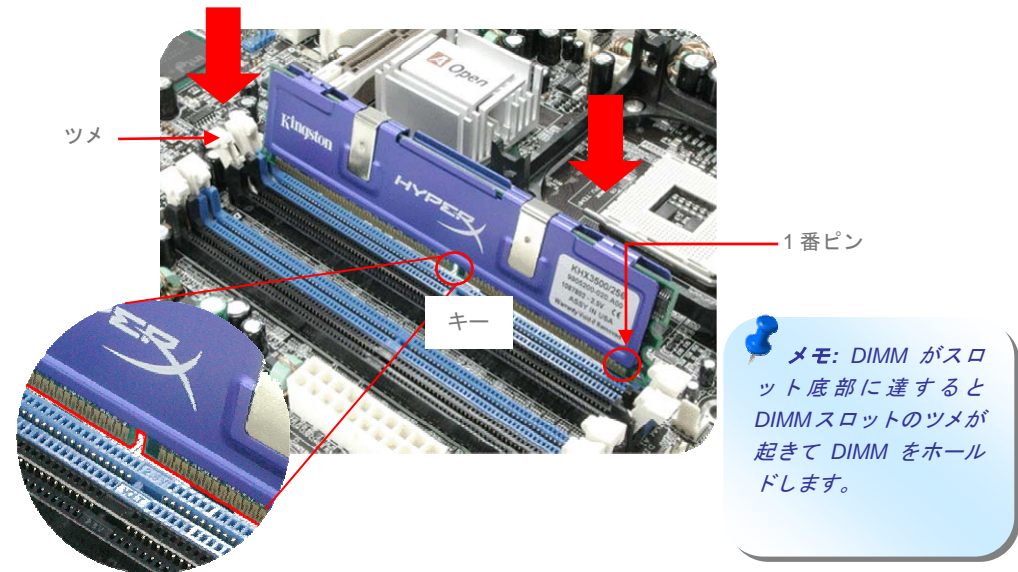
CPU ファンケーブルは、4 ピンの CPUFAN コネクタに接続します。ケースファンがある場合は、これを SYSFAN1 または SYSFAN2 コネクタに接続できます。



メモ: CPU ファンによってはセンサピンのないものもあります。この場合ファンのモニター機能は使用できません。

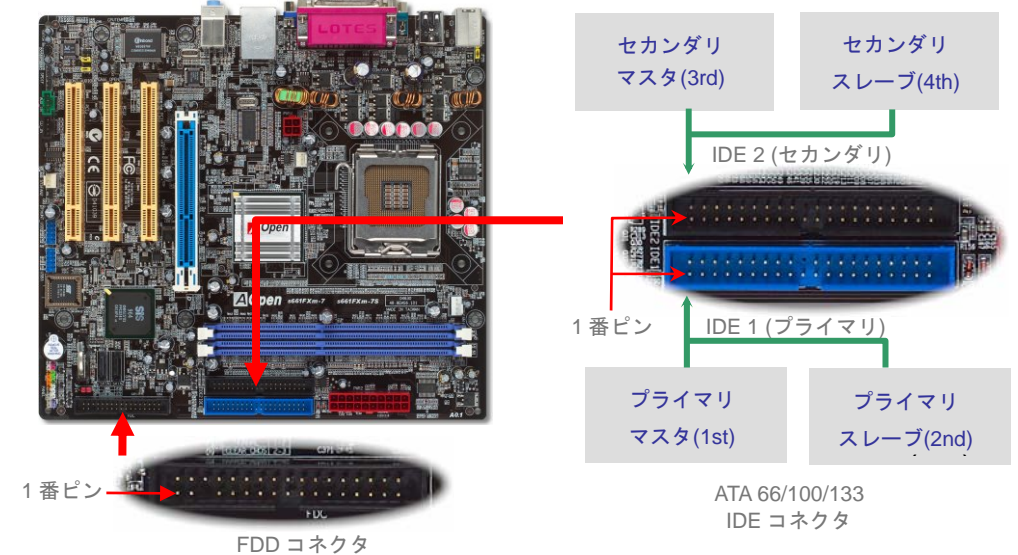
3. メモリモジュールのインストール

DIMM スロットはエレクトリックブルーで容易に判別できます。モジュールを両手で DIMM スロットにまっすぐ静かに、きちんと止まるまで挿します。



4. IDE およびフロッピーのケーブルの接続

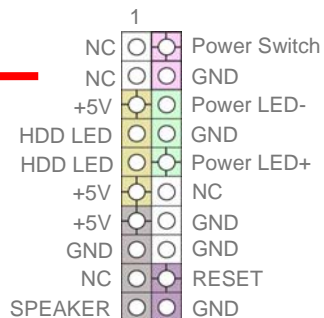
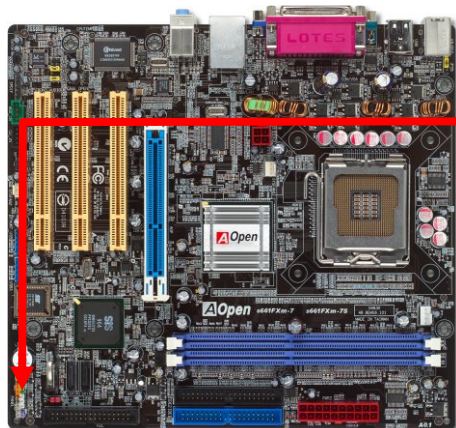
34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン, 80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDD および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。向きを間違えるとシステムの故障の原因となります。



5. フロントパネルケーブルの接続

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに挿します。BIOS セットアップで“Suspend Mode” の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

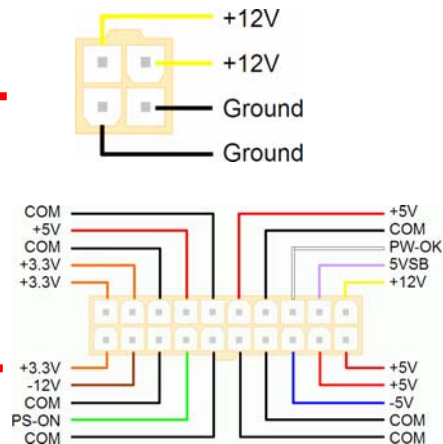
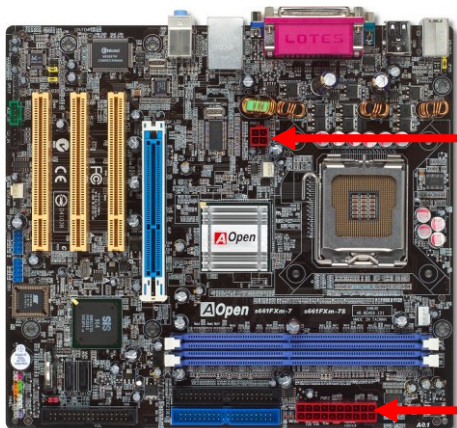
お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを **SPWR** と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



フロントパネルコネクタ

6. ATX 電源ケーブルの接続

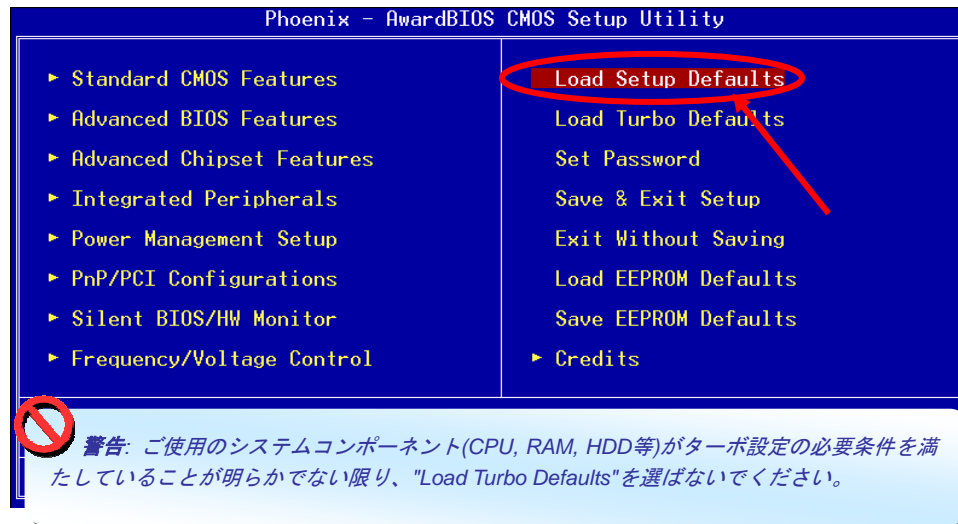
当マザーボードには下図のように 20 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。挿し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。



7. 電源オンおよび BIOS 設定のロード

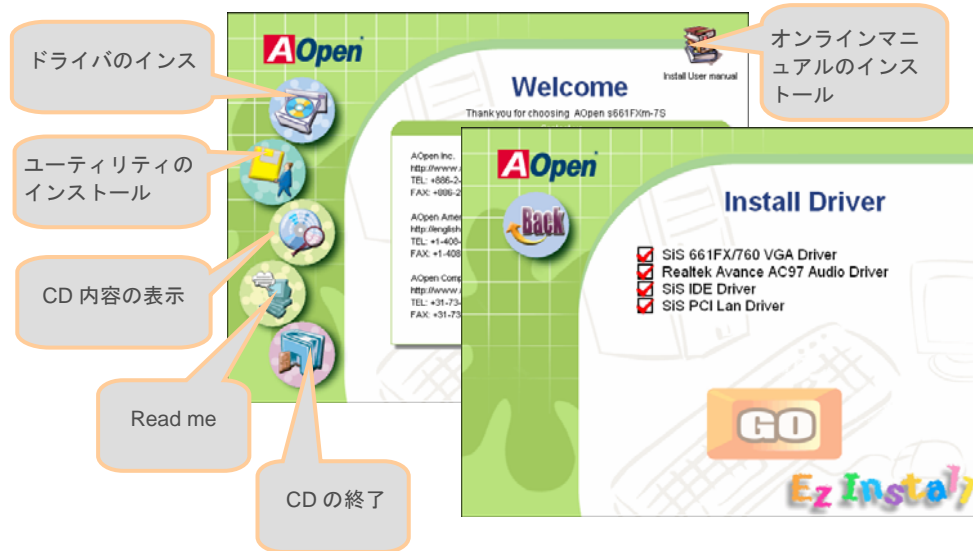
Del

ジャンプ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



8. AOpen ボーナスパック CD および EzInstall

ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。左側のアイコンからユーティリティやドライバを選び、“GO”ボタンを押せば、インストールは最後まで自動的に行われます。



CPU 電圧およびクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは電圧 ID (VID)機能で、電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。CPU コア電圧の設定は不要です。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパレス設計なので、CPU クロック設定は BIOS の 1MHz ステップ CPU オーバークロック機能から行います。CPU コアクロック=CPU FSB クロック x CPU レシオ。ただし、現在市場に流通する CPU は"倍率固定"、すなわちユーザーによる CPU レシオは調節不可能で、オーバークロックには CPU FSB クロックのみが調節可能です。

(オーバークロックは自己責任の元行なって頂きますようにお願いします。)

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

CPUレシオ	8x, 10x... 24x, 25x, 26x, 27x, 28x
CPU FSB (マニュアル調節)	FSB = 100MHz-250MHz、1MHz ステップCPUオーバークロックによる

プロセッサ番号	プロセッサクロック	FSB	CPUレシオ	キャッシュ
5シリーズ				
580	4.00G	800MHZ	20x	1MB L2
570	3.80G	800MHZ	19x	1MB L2
560	3.60G	800MHZ	18x	1MB L2
550	3.40G	800MHZ	17x	1MB L2
540	3.20G	800MHZ	16x	1MB L2
530	3.00G	800MHZ	15x	1MB L2
520	2.80G	800MHZ	14x	1MB L2
3シリーズ				
350	3.20G	533MHZ	24x	256K L2
345	3.06G	533MHZ	23x	256K L2
340	2.93G	533MHZ	22x	256K L2
335	2.80G	533MHZ	21x	256K L2

メモ: CPU クロックは頻繁に変更されています。当インストールガイドを入手された時点でも、より高速の CPU が市場に出回っているかもしれません。この一覧表はユーザー皆様の参照用です。

メモ: Some CPUファンによってはセンサピンのない物もあります。この場合ファンモニタ機能はサポートされません。

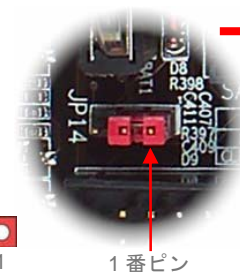
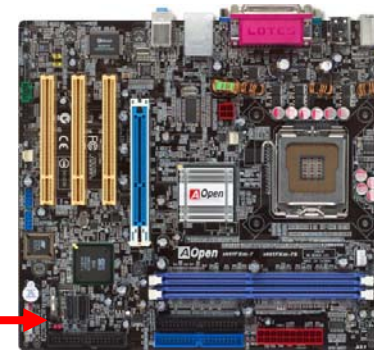
メモ: SiS 661FX チップセットは LGA 775 CPU をサポートしています。LGA 775 プロセッサはクロックレシオを自動検出するのでクロックレシオを手動変更することは出来ません。

Warning: SiS 661FX チップセットは最大 800MHz (200MHz*4) のシステムバスをサポートしています。より高速の設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

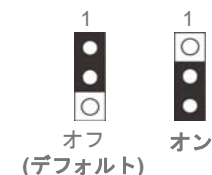
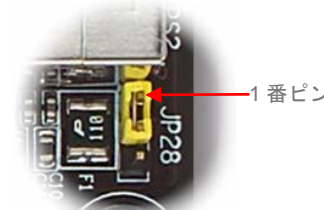
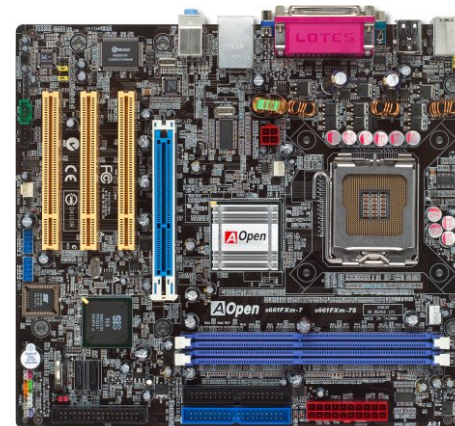
1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に挿します。



- !** ヒント: CMOS クリアが必要な場合は?
1. オーバークロック時の起動失敗...
 2. パスワードを忘れた...
 3. トラブルシューティング...

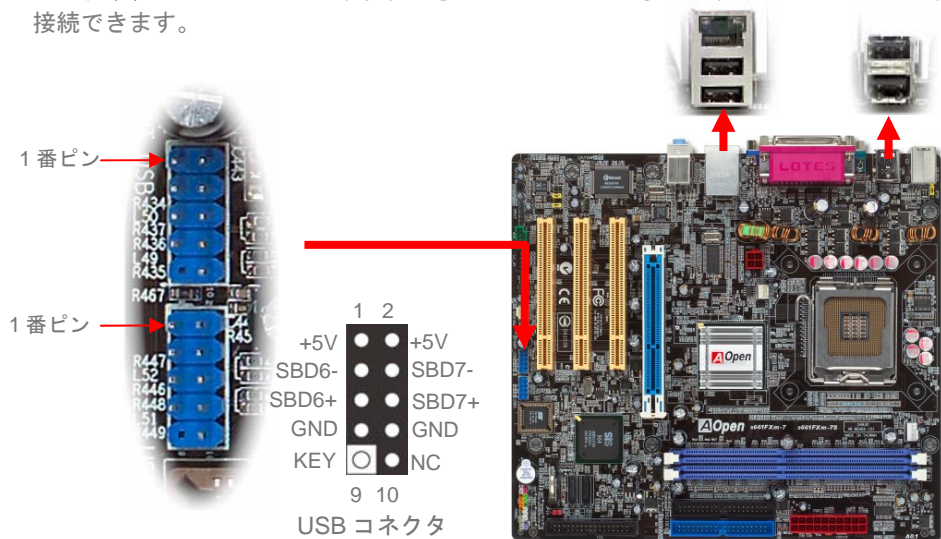
JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

当マザーボードにはキーボード/マウスウェイクアップ機能が装備されています。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は"オフ"(1-2)ですが、ジャンパ位置を 2-3 にすることで、この機能がオンになります。



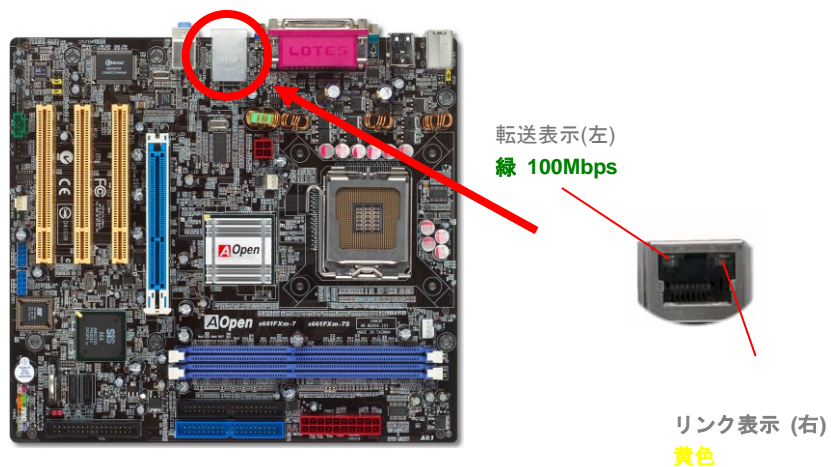
USB 2.0 コネクタ

当マザーボードは 8 個の USB 2.0 ポートを装備し、マウス、キーボード、モデム、プリンタなどの USB 機器が接続できます。後部パネルに 4 個のポートがあります。適当なケーブルにより、フロント USB コネクタから USB モジュールまたはケースのフロントパネルに接続できます。



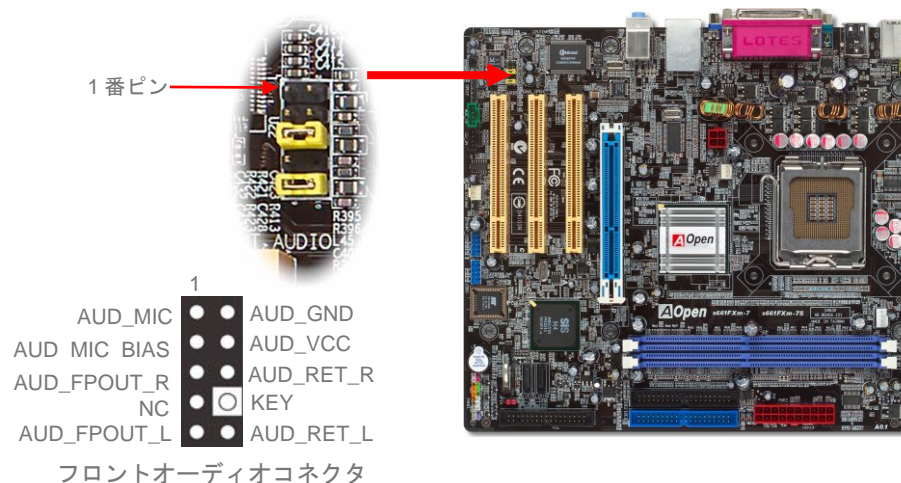
オンボード 10/100 Mbps LAN

オンボードの高性能 SiS LAN コントローラにより、当マザーボードでは、10/100 Mbps イーサネットがオフィスやホームユースで利用可能です。イーサネット用 RJ45 コネクタは USB コネクタ上部に位置します。右側の LED はリンクモード表示で、ネットワークにリンクしている場合は黄色に点灯します。左側の LED は転送モード表示で、データ転送速度が 100Mbps の場合は緑に点灯します。この機能のオンオフは BIOS から簡単に設定できます。



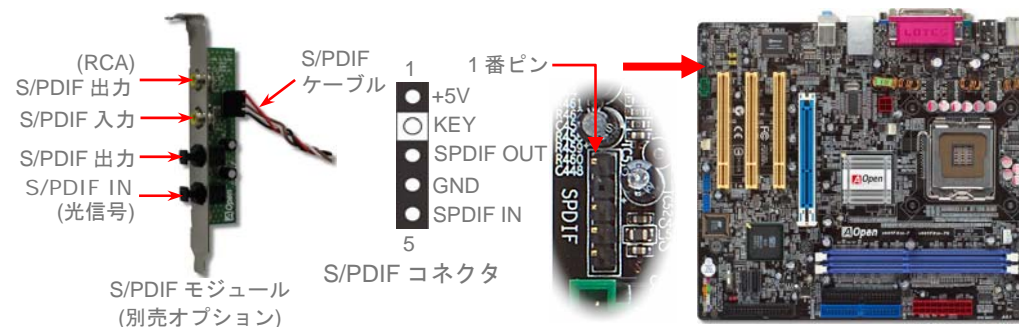
フロントオーディオコネクタ

筐体のフロントパネルにオーディオポートが装備されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントオーディオコネクタからジャンパキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は、黄色いジャンパキャップを外さないでください。



S/PDIF コネクタ

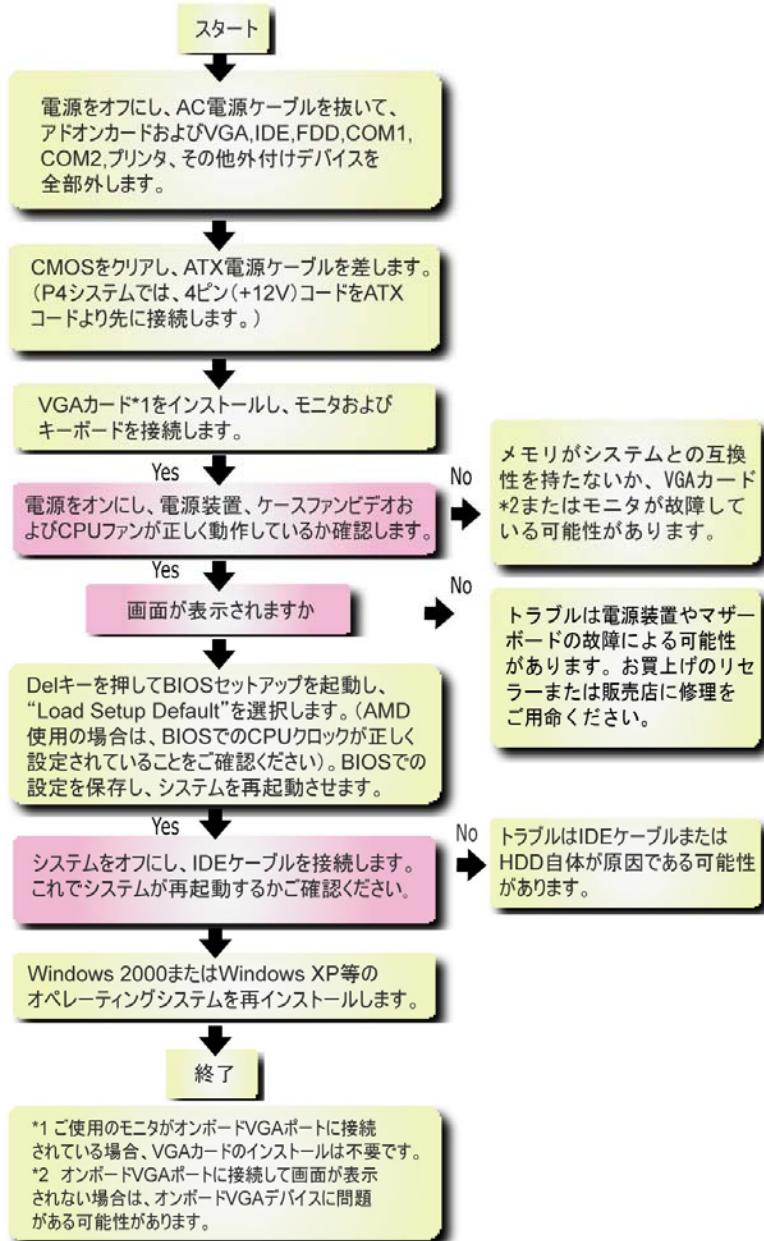
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。専用オーディオケーブルにより、SPDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。図示されているように通常 S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。出力と同様、モジュールの入力コネクタに RCA または光信号オーディオ製品を接続して、お持ちのコンピュータからサウンドを出すことも可能です。ただし、当機能の長所を最大限活かすには SPDIF デジタル入出力を SPDIF デジタル入出力対応スピーカー/アンプ/デコーダに接続する必要があります。





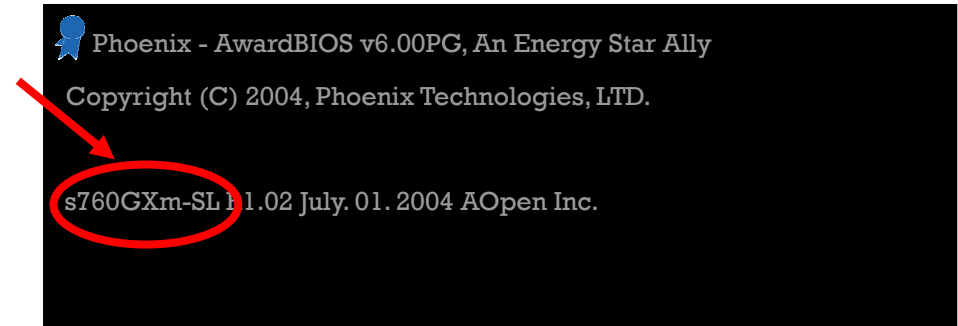
トラブルシューティング

システムのブートに関係したトラブルが起きたなら、問題を解決するために以下の手順に従ってください。



モデル名と BIOS バージョン

モデル名と BIOS バージョンはブートの最初の画面 (POST 画面) の上部左に現れます。例えば：



S760GXm-SL はマザーボードのモデル名で、R1.02はBIOSバージョンです。

マザーボードを登録する

AOpen 製品をお選び下さりありがとうございます。Club AOpen のゴールド会員になるために、本マザーボードを <http://club.aopen.com.tw/productreg/> にてご登録ください。AOpen が高品質のサービスと優先度を保証するものです。スロットマシンゲームに参加して、AOpen から賞を獲得するチャンスもあります。始める前に以下の情報を準備してください：**モデル名、部品番号 (P/N)、シリアル番号 (S/N)、購入日付**です。部品番号とシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。このバーコードラベルはパッキングの外側が PCB のコンポーネント側にあります。例えば：



部品番号

シリアル番号

P/N: 91.88110.201 は部品番号、S/N: 91949378KN73 はシリアル番号です。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

エラー音	メッセージ
1 回短く (・)	システムのブートが正常
2 回短く (・・)	BIOS設定エラー
1 回長く - 1 回短く (-・)	メモリエラー
1 回長く - 2 回短く (-・・)	AGPエラー (VGAカードかモニターの接続エラー)
1 回長く - 3 回短く (-・・・)	VGAカードエラー (オンボードVGA利用時はメモリエラー含む)
長いエラー音が継続 (- - - -)	メモリエラー (メモリが正しく装着されていない、正しく認識していない)



テクニカルサポート

お客様各位

この度は AOpen 製品をお選びくださりありがとうございます。今後の良質なサービスを保証する Club AOpen のゴールド会員になるために <http://www.aopen.com> で登録して下さるようお勧めいたします。お客様各位への最良のサービスを維持できるよう、下記の手順に従い、皆様がお買い求めになった地域に従って、各地の支店からサービスをお受けになるようお願い致します。皆様のご協力によって、全てのお客様への効果的で最良のサービスを提供し続けてまいります。

ご理解に厚く感謝致します。

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Email: Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

環太平洋地域

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ヨーロッパ Email: Support@AOpen.NL
環太平洋 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>
中国 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>
ドイツ <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>
アメリカ <http://usa.aopen.com/tech/default.htm>
日本 <http://aopen.jp/tech/index.html>

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログインに必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイージーインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。

<http://aopen.jp/tech/report/index.html>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログインに必要な言語を指定してから問題の解決方法を見えます。

<http://aopen.jp/tech/faq/index.html>

ソフトウェアのダウンロード：ログインして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードして見えます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログインしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。

<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。